

器具機械 3 2 医療用吸引器

一般医療機器 再使用可能な汎用吸引チップ 3 8 7 4 9 0 0 0

スーパーサクション

【警告】

- 本品を使用する前に必ず適切な洗浄、滅菌を行うこと。
[感染等の恐れがあるため]
- 本品使用中に電気メス先を直接接触させないこと。
[感電、火傷の原因となるため]
- 本品使用後に取り扱う際は、必ず手袋を着用するなど感染対策に努めること。[感染等の恐れがあるため]

【形状・構造及び原理等】

●形状



吸引嘴管は嘴管の先端に吸引口がある杉山式と先端側面に吸引口がある安田式の2種類があり、それぞれ番手に分けられる。

頰管拡張器	4号	7号	10号	11号	12号	14号
杉山式	—	—	1番	—	2番	3番
安田式	1番	2番	3番	4番	—	—
適用	流産時、無麻酔内容除去			妊娠9週まで		妊娠12週まで

●材質

吸引嘴管 黄銅(C3604) クロムメッキ仕上げ
回転グリップ 黄銅(C3604) クロムメッキ仕上げ
接続ホース 軟質塩化塩ビニル

【使用目的、効能又は効果】

本品は手術又は治療時に吸引器具に接続し、吸引を調節又は指示する器具です。本品は再使用可能です。

【操作方法又は使用方法等】

1. 準備

- ①器具が洗浄・滅菌されていることを確認してください。
また、傷や曲がり、可動部の異常等がないことも確認してください。
- ②吸引器具に接続された接続ホースを回転グリップと接続します。
- ③手技に適した吸引嘴管を選択し、回転グリップに装着します。

2. 嘴管挿入

- ①内診にて子宮傾度を確認します。
- ②子宮内腔を一直線にします。
- ③嘴管を頸管に挿入します。

3. 吸引

- ①吸引器具（電動式吸引器）を作動させます。
- ②吸引器具（電動式吸引器）の真空計を目視し、53kPa(400mmHg)に

圧力を調整します。

- ③嘴管を緩やかに、挿入抜去しながら回転させます。
- ④手ごたえを感じたら、回転をやめて穏やかな挿入抜去を続けます。
- ⑤わずかに血泡が流れ始め、自然収縮をした子宮筋層のあたりを感じた後、子宮底まで挿入します。
- ⑥完全収縮した子宮内腔全層を感じると除去は終了です。

【使用上の注意】

- 本品を購入後初めて滅菌する際には、出荷時に油引き等の防錆処理がなされている場合があるので、洗浄してから滅菌すること。
- 使用前に洗浄・滅菌されていることを確認すること。
- 本品の使用に際し、手術手技を十分に理解した上で使用すること。
- 本品を使用目的(手術・処置等の医療行為)以外の目的で使用しないこと。
- 本品に過度の力を加えたり、無理な使用はしないこと。
- 本品に異常がある場合、又は本品が破損している場合は、「使用禁止」と表示し使用しないこと。

【貯蔵・保管方法及び使用期間等】

耐用期間

- 本品の耐用期間は5年です。[自己認証データによる]

保管

- 洗浄後、腐食防止のため必ず乾燥させてください。
- 滅菌後は清潔な場所に保管してください。

【保守・点検に係る事項】

洗浄

- 感染防止の為、使用後できるだけ早く、血液、体液、組織等の汚物を除去し、洗浄してください。
- 汚物除去に用いる洗剤は、洗浄方法に適した物を選択し、適正な濃度で使用してください。
- 洗剤の残留がないように充分すすぎをしてください。仕上げすすぎには、精製水を用いることを推奨します。
- 洗浄装置で洗浄するときには、器具同士が接触して損傷することがないように注意してください。
- 強アルカリ/強酸性洗剤・塩素及びヨウ素を含む消毒液は器具を腐食させる恐れがありますので、使用しないでください。
- 金属たわしやクレンザー（磨き粉）等は器具の表面を傷つけますので使用しないでください。
- 洗浄後は、腐食防止のため必ず乾燥させて下さい。

滅菌

- 洗浄後、傷や曲がり、可動部等の異常等がないことを点検した上で、滅菌して下さい。
- 本品の滅菌には、医療機関により確認され、検証された滅菌条件にもとづいて、オートクレーブ滅菌又はエチレンオキサイドガス滅菌を行って下さい。
* 接続ホースはオートクレーブ滅菌できません。
- 滅菌作業は、滅菌器の取扱説明書にしたがって行って下さい。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】

- 製造販売業者：トーイツ株式会社
主たる事務所の住所：神奈川県横浜市港北区綱島東5-10-3
TEL. 045(543)1121
FAX. 045(546)1313
- 製造所の名称：トーイツ株式会社 綱島工場